授業科目	＊専門演習Ⅰ（八尋）					実務家教員担当科目	－
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	八尋　春海						
授業概要	大学における学びの集大成としての卒業論文作成を大きな目標とし、そこに至るまでに必要と考えられるスキル（研究目的と研究方法、先行論文の講読、議論、調査、分析、卒業論文執筆の際の注意点など）を身につける。各担当者の授業の詳細については、ゼミ募集時に配布されたゼミ案内に記載された内容を参照のこと。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	「ツーリズム演習」「ビジネス演習」「地域活性化演習」における学習を発展させ、学生各自が問題意識や研究テーマをできるだけ明確にしながら、その内容についての発表、討論をすることができる。さらに4年次の「卒業研究」を念頭に置きながら、研究計画を立案できる。論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく口頭及び論文で述べる能力を習得できている。
理想的レベル	論文作成の基本マナーを体得しており、4年次の「卒業研究」にスムーズに進むことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	25%	
レポート外の提出物	25%	
その他		

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	T032104J

学習課題（予習・復習）	1回の学習目安（時間）
予習	1

授業計画

第1回	1～14回のすべてのテーマ・講義内容については、第一回目の授業で担当者によって説明されます。
テキスト	担当者により説明がされます。
参考図書・教材／データベース・	1．知へのステップ 2．よくわかる卒論の書き方 3．図書館の朝日新聞のデータベース　／　JapanKnowLedge　／　ブリタニカオンラインジャパン 4．担当者により説明されます。

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	4 年次に無理なく卒業研究に取り掛かることができるように、卒業論文作成のマナーの基本を体得しているようにしましょう。 プレゼンテーション、レポート等を実施します。プレゼンテーション評価は返却します。
学生へのメッセージ・コメント	2 年次までの演習・研究科目についての理解がきちんとなされていること、日頃から新聞雑誌等を読み、テレビ・ラジオ、ネットでのニュースに関心を持っていることが大事です。知識の枠組みを応じること基本です。